

## 環境厚生分科会委員長報告

H 2 5 . 1 0 . 1

環境厚生分科会に付託されました平成24年度一般会計、各特別会計及び企業会計決算について、審査の経過概要とその結果を報告いたします。

まず、平成24年度一般会計決算の本分科会所管分ではありますが、その主なものは、民生費及び衛生費であり、その内容は、市民の生活を守る各福祉事業、くらしに密着する環境衛生事業、健康を守る保健衛生事業などであり、おおむね予算に沿って、事務事業が執行されていきました。

本決算について、採決の結果は、多数をもって認定すべきものと決定しました。

なお、指摘要望事項として、

敬老事業について、昨年度も指摘しましたが、十分に取組みられておらず、今後の超高齢社会の進展を鑑み、敬老精神の発現とともに、地域全体のつながりを築く一つの行事として、将来的に安定してその役割を担うことができるよう、様々な手法の研究を再度望むものです。

次に、平成24年度国民健康保険事業特別会計決算ではありますが、国民健康保険法に基づき、医療を保障し、福祉を増進するため事業が実施されており、適正な運営に努められていきました。

本決算については別段異論なく、採決の結果は、全員をもって認定すべきものと決定しました。

次に、平成24年度休日診療事業特別会計決算ではありますが、休日等の応急的な診療を行い、市民に定着している事業であり、適正な運営に努められていきました。

本決算については別段異論なく、採決の結果は、全員をもって認定すべきものと決定しました。

次に、平成24年度介護保険事業特別会計決算ではありますが、介護予防事業や各種介護サービスの実施等、適正かつ円滑な運営に努められていきました。

本決算については、保険料の引上げに関し反対の討論がありました。  
採決の結果は多数をもって認定すべきものと決定しました。

次に、平成24年度後期高齢者医療事業特別会計決算であります。保険証等交付、給付申請、保険料の徴収等を実施し、制度の円滑な運営に努められていました。

本決算については、保険料の引上げと短期証の発行等に関し反対の討論がありました。

採決の結果は多数をもって認定すべきものと決定しました。

次に、平成24年度病院事業会計決算であります。「亀岡市立病院改革プラン」に基づく経営健全化に取組み、安定的な地域医療の提供に努められていました。

審査においては、医療圏域のニーズ把握を十分に行い、公立病院として担うべき役割に沿って繰入金の基準等の内容を明らかにするべきとの意見がありました。

採決の結果は、全員をもって認定すべきものと決定しました。

以上、簡単ではありますが、本分科会の報告といたします。

## 環境厚生分科会

## 平成25年9月決算特別委員会 事務事業評価結果

番号	事業名	評価	意見等
1	アユモドキが棲み続ける環境保全事業 < 環境政策課 >	継続(拡充)	連携を強化し、国・府の関与が拡大されるよう努められたい。 生息場所拡大も含めた「攻めの保全」に努められたい。
2	ごみ減量化・資源化等推進経費 < 環境クリーン推進課 >	継続(改革改善)	市民意識の向上を目指す啓発に、より一層努められたい。 分別収集の拡大に努められたい。 成果の取り方について改善を求める。 クリーンかめおか推進会議のあり方を見直し、市民参画の工夫を図られたい。
3	高齢者生活支援経費 < 高齢福祉課 >	継続(改革改善)	制度広報に努められたい。 利用ニーズの把握に努められたい。 利用増進が図られる事業メニューの見直しを検討されたい。
4	地域包括ケア推進事業 < 高齢福祉課 >	継続(拡充)	今後は、得られたデータを活かして積極的に次の展開を検討されたい。